

男子ホッケー チャンピオンズチャレンジ I 2014

日付	2014年4月26日 17:00~18:20	天候	晴れ
場所	マレーシア・クアンタン	通算結果	日本 1勝
試合	第1戦		

Country	RESULT	Country
日本 JAPAN	Full Time 3 - 2 Half Time 1 - 2	ポーランド POLAND

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓ 1	高瀬克也(GK)				
7 3	粥川幸司(C)	24			
4 4	佐々木拓郎				
✓ 5	塩川直人				
5 6	河内伸仁				
✓ 7	小野知則				
4 8	北里謙治				
✓ 9	藤本一平				
✓ 11	川上啓	41			
✓ 14	長澤克好				
✓ 15	山下学				
✓ 16	畠山学				
4 18	井島光希				
✓ 23	坂本博紀				
✓ 29	山部晃嗣				
4 30	吉原平太				
31	森嶋彬(GK)				
✓ 32	橘敏郎				
Coach	姜建旭				
監督	藤原信幸				
UMPIRE	UYTTENHOVE Gregory(BEL)				

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓ 1	MATUSZAK Arkadiusz (GK)				
5 4	RACINIEWSKI Michal				
✓ 7	GÓRNY Tomasz				
11 9	SELLNER Sebastian	30			
✓ 10	WEIDE Philipp				
12	DOMACHOWSKI Lukasz (GK)				
✓ 13	WACHOWIAK Tomasz				
✓ 14	ZYWICZKA Bartosz	40			
6 16	CHWALISZ Adam				
✓ 17	MAKOWSKI Krystian				
6 20	NOWAKOWSKI Michal				
✓ 22	MAJCHRZAK Karol				
✓ 23	KOZLOWSKI Piotr				
5 25	KROKOSZ Adrian	48			
6 26	KASPRZYK Michal				
✓ 27	BRATKOWSKI Pawel (C)				
✓ 29	POLTASZEWSKI Michal				
✓ 30	POLTASZEWSKI Mateusz				
Coach	SNIEZEK Karol				
監督	CICHY Tomasz				
UMPIRE	KANABATHU Ilango(MAS)				

Team	Minute	Name	Action	Score
POL	7	RACINIEWSKI Michal	FG	0-1
JPN	8	粥川幸司	FG	1-1
POL	29	KROKOSZ Adrian	FG	1-2

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	50	藤本一平	FG	2-2
JPN	61	坂本博紀	PC	3-2

チャンピオンズチャレンジ I 2014初戦は世界ランキング18位ポーランドとの対戦である。第1試合に続きこの試合でも、マレーシアの猛暑を考慮し、試合の前後半それぞれ17分30秒で試合を止め(試合の再開は前後半同じチームのセンターパスにより開始)、2分間の休憩時間を設けるという措置がとられた。

(前半)

日本は7分ポーランドにライトからドリブルでのサークルインを許すと、ブッシュシュートから先制点を決められる。8分日本は北里がライトからドリブルインを仕掛けると、最後はゴール前の粥川がタッチシュートを決め、すぐに試合を振り出しに戻す。その後は膠着状態が続くが、29分ポーランドはレフトのセンタリングから日本のサークル内にボールを流すと、混戦の中からポーランドの放ったやや打ち損じたシュートは、詰めていたGK高瀬の頭上を越えてゴールに吸い込まれる。日本はその後チャンスが何度も訪れるが、得点を奪うには至らず、1点のリードを許して試合は後半へ。

(後半)

後半立ち上がりに日本は何度もポーランドゴールに迫り、44分レフトのコーナーから河内がリスタートを仕掛け、最後は吉原のドリブルインからPCを得るが、長澤のゴール左下へのドラッグフリックシュートはGKに阻まれる。その後も日本はポーランド陣内に何度も攻め込み、50分中盤でのカウンターからサークルに侵入しシュートを放つと、ポーランドDFが慌てて中央へクリアしたボールを藤本がサークルトップで奪い、そのままリバースシュートをゴール左上に突き刺し、同点に追いつく。その後両チームの攻撃は得点を奪うために加速し、攻守の切り替わる展開となる。61分日本はカウンターから中盤でボールを受けた坂本がサークルへボールを打ち込むとPCを取得。これを北里が敵の1番騎・2番騎を上手くかわしブッシュシュートを放つと、GKに当たり空中に浮いたリバウンドボールを坂本が落ち着いてゴールに流し込み、日本は遂に逆転に成功する。何とか同点に追い付きたポーランドは試合終了間際の68分にロングボールの打ち込みからPCを取得する。日本はこのPCから立て続けに3本のPCを与えてしまうが、1番騎の山下とGK高瀬の好セーブにより得点を与えない。このまま3-2で試合終了。

日本は特に前半は苦しんだものの、後半は本来の力を発揮し初戦を白星で飾った。

なお、この試合のマン・オブ・ザ・マッチに同点ゴールを奪った藤本が選出された。

日本	11	シュート数	7	ポーランド
	2	PC数	4	

次戦(第2戦) 4月27日(日) 15:00 ~ 日本対ニュージーランド

記載責任者:男子コーチ 藤原 信幸